

カリキュラムマップ
(物理学専攻 博士後期課程)

◎ : DPと最も関連がある科目 (一つのみ)
● : DPと関連がある科目

NO	科目区分	科目ナンバー	授業科目の名称	配当年次	前・後期の別	単位数			知識・理解	思考・判断		関心・意欲	態度		技能・表現
						必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
									宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野における専門知識を生かして、1つのテーマの解決策を与えることができるか、または、解決に至る道筋を客観的に示せる。	理学・工学の考え方や原理に基づき、問題を俯瞰し総括することができる。	現実の社会で発生している物理学以外の問題・事象に対しても、各分野で経験した研究方法が適用できる可能性を指摘できること、またはその問題点を整理できる。	物理学以外の活動で起こっている事象の中で、物理学の手法で解決できるものがあるならば、問題の根源に立ち戻って具体的な解決策を提示できる。できないならば、その理由を提示して、不合理的な状況に陥らないように行動できる。	宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野の中で得た思考や実験の結果が、読者付の学術誌に英文で投稿受理されるようになる、国際会議で講演できるようになる。	新たな研究テーマを自ら考え提案・研究して、未知の問題に解決策を与えられる専門的職業人として活躍できる。	研究などにおいて理論を提案するだけでなく、実際にやって検証すること、または検証するための技術、具体的方法を提示できる。
研究科目															
1		7111	素粒子論特別講義 A	1	前期		2		◎						
2		7112	素粒子論特別講義 B	1	後期		2		●	◎					
3		7121	統計物理学特別講義 A	1	半期(集中)		2		◎	●					
4		7122	統計物理学特別講義 B	1	半期(集中)		2		●	◎					
5		7131	原子分子物理特別講義 A	1	前期		2		◎	●					
6		7132	原子分子物理特別講義 B	1	後期		2		●	◎					
7		7211	宇宙物理学特別講義 A	1	前期		2		◎	●					
8		7212	宇宙物理学特別講義 B	1	後期		2		●	◎					
9		7221	天体物理学特別講義 A	1	前期		2		◎	●					
10		7222	天体物理学特別講義 B	1	後期		2		●	◎					
11		7311	固体分子物性特別講義 A	1	前期		2		◎	●					
12		7312	固体分子物性特別講義 B	1	後期		2		●	◎					
13		7341	放射線物理特別講義 A	1	前期		2		◎	●					
14		7342	放射線物理特別講義 B	1	後期		2		●	◎					
15		7321	物性物理学特別講義 A	1	前期		2		◎	●					
16		7322	物性物理学特別講義 B	1	後期		2		●	◎					
17		7331	ソフトマター物理特別講義 A	1	半期(集中)		2		◎	●					
18		7332	ソフトマター物理特別講義 B	1	半期(集中)		2		●	◎					
論文指導科目															
19		7001	物理学特別研究 1	1	前期	2				◎				●	●
20		7002	物理学特別研究 2	1	後期	2					◎			●	●
21		7003	物理学特別研究 3	2	前期	2						●		●	◎
22		7004	物理学特別研究 4	2	後期	2					●		●	◎	●
23		7005	物理学特別研究 5	3	前期	2				●		●		◎	●
24		7006	物理学特別研究 6	3	後期	2				●		●		◎	●
計						12	36	0							

物理学専攻 博士後期課程 カリキュラムツリー

学年	期	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度		技能・表現										
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7									
		宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野における専門知識を生かして、1つのテーマの解決策を与えることができるか、または、解決に至る道筋を客観的に示せる。	理学・工学の考え方や原理に基づき、問題を俯瞰し総括することができる。	現実の社会で発生している物理学以外の問題・事象に対しても、各分野で経験した研究方法が適用できる可能性を指摘できること、またはその問題点を整理できる。	物理学以外の活動で起こっている事象の中で、物理学の手法で解決できるものがあるならば、問題の根源に立ち戻って具体的な解決策を提示できる。できないならば、その理由を提示して、不合理な状況に陥らないように行動できる。	宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野の中で得た思考や実験の結果が、読者付の学術誌に英文で投稿受理されるようになる、国際会議で講演できるようになる。	新たな研究テーマを自ら考え提案・研究して、未知の問題に解決策を与えられる専門的職業人として活躍できる。	研究などにおいて理論を提案するだけでなく、実際にやって検証するための技術、具体的方法を提示できる。									
3	後					物理学特別研究 6											
	前					物理学特別研究 5											
2	後						物理学特別研究 4										
	前							物理学特別研究 3									
1	後		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>素粒子論特別講義 B</td> <td>宇宙物理学特別講義 B</td> <td>放射線物理特別講義 B</td> </tr> <tr> <td>統計物理学特別講義 B</td> <td>天体物理学特別講義 B</td> <td>物性物理学特別講義 B</td> </tr> <tr> <td>原子分子物理特別講義 B</td> <td>固体分子物性特別講義 B</td> <td>ソフトマター物理特別講義 B</td> </tr> </table> </div>	素粒子論特別講義 B	宇宙物理学特別講義 B	放射線物理特別講義 B	統計物理学特別講義 B	天体物理学特別講義 B	物性物理学特別講義 B	原子分子物理特別講義 B	固体分子物性特別講義 B	ソフトマター物理特別講義 B			物理学特別研究 2		
	素粒子論特別講義 B	宇宙物理学特別講義 B	放射線物理特別講義 B														
統計物理学特別講義 B	天体物理学特別講義 B	物性物理学特別講義 B															
原子分子物理特別講義 B	固体分子物性特別講義 B	ソフトマター物理特別講義 B															
前	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>素粒子論特別講義 A</td> <td>宇宙物理学特別講義 A</td> <td>放射線物理特別講義 A</td> </tr> <tr> <td>統計物理学特別講義 A</td> <td>天体物理学特別講義 A</td> <td>物性物理学特別講義 A</td> </tr> <tr> <td>原子分子物理特別講義 A</td> <td>固体分子物性特別講義 A</td> <td>ソフトマター物理特別講義 A</td> </tr> </table> </div>	素粒子論特別講義 A	宇宙物理学特別講義 A	放射線物理特別講義 A	統計物理学特別講義 A	天体物理学特別講義 A	物性物理学特別講義 A	原子分子物理特別講義 A	固体分子物性特別講義 A	ソフトマター物理特別講義 A			物理学特別研究 1				
素粒子論特別講義 A	宇宙物理学特別講義 A	放射線物理特別講義 A															
統計物理学特別講義 A	天体物理学特別講義 A	物性物理学特別講義 A															
原子分子物理特別講義 A	固体分子物性特別講義 A	ソフトマター物理特別講義 A															